

野村ユニソンに県献血 推進協議会長表彰

長年にわたって献血の推進に尽力したとして、今年度の県献血推進協議会長表彰に産業用装置や金属加工などの「野村ユニソン（茅野市）」が選ばれた。諏訪市の県諏訪合同庁舎で7日、県諏訪保健福祉事務所の坂本泰啓所長が同社の代表者に表彰状を伝達した。

県内で10団体が受賞し、諏訪地方では唯一だった。同社



表彰状を手に持つ野村ユニソンの代表者

は26年以上、毎年1回移動採血車を受け入れ、本社と本社

隣にあるグループ会社の従業員約300人を中心に有志が献血に協力する。坂本所長は「血液製剤は献血に頼るしかない。人と人が支え合う献血活動への協力に感謝する」と述べた。同社を代表して表

彰状を受け取った丸山智・総務人事部長は「今後も地域社会貢献として協力していきたい」と話した。

今年度の諏訪地域献血推進協議会長表彰の該当者はなかった。同事務所によると、昨年度の管内の献血の目標達成率は96・2%で例年並み。県全体の達成率は102・4%だった。コロナ禍で移動採血車の受け入れをやめた団体もあったが、代わりに県職員の協力機会を増やすなどした。今年度も例年並みの目標達成率で推移しているという。

（中村理沙）